

てだす ひつよう ひと てだす ひと むす
「手助けが必要な人」と「手助けする人」を結ぶカードです。

ご利用ください

ヘルプカード

ヘルプカードとは

障がいのある方には、外見では障がいがあることが分かりにくかったり、自分から「困った」と伝えるのが困難な人がいます。

一方で、地域の人等からは「どのように支援したら良いかわからない」という声があります。

このカードは、手助けが必要な人が携帯し、災害時や日常生活で困った際に、周囲の人に支援や配慮を求めやすくするためのカードです。

<表面>



カードを持っている人が困っているのを見かけたら、まずは声をかけてください。そして、必要に応じてカードの記載内容を確認し、支援をお願いします。

カードの記載内容

本人の名前や住所、連絡先、苦手なこと、お願いしたいことなど

○記載例

<裏面>

<small>にがて</small> <苦手なこと・できないこと>
・パニックになることがあります。
・大きな音が苦手です。
<small>しえん ほ</small> <支援して欲しいこと>
・静かな場所に誘導してください。
・連絡先に電話をしてください。

<内側>

<small>ふりがな</small> 氏名 旭 太郎
<small>せいねんがっぴ</small> 生年月日 昭和〇年
<small>じゆうしょ</small> 住所 尾張旭市△町
<small>きんきゆうれんらくさき</small> <緊急連絡先①>
<small>ふりがな</small> 氏名 旭 花子
<small>でんわばんごう</small> 電話番号 090-1234

<small>きんきゆうれんらくさき</small> <緊急連絡先②>
<small>ふりがな</small> 氏名 旭 次郎
<small>でんわばんごう</small> 電話番号 090-8888
<small>じゆうきじゆつ</small> <自由記述>
かかりつけ医:△医院
飲んでいる薬:◇◇錠

配布対象となる方

尾張旭市に在住・在学・在勤等で、障がいのある方、難病の方、その他支援を必要とする方（手帳の有無は問いません。）

配布場所・問い合わせ先

おわりあさひし けんこうふくしふ ふくしか しょう ふくしがかり
尾張旭市 健康福祉部 福祉課 障がい福祉係
電 話 0561-76-8142 (直通)
FAX 0561-52-3749
メール fukusi@city.owariasahi.lg.jp

おわりあさひしひがしだいどうちようはらた
(〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600-1)

ヘルプカード活用の具体例 Q&A

<災害や緊急のとき>

Q 1 安全な場所に避難しなくてはいけないときに、危険を察知していない人やパニックで動けない人を見かけた場合はどうしたらいいの？

⇒A まず簡単で短い言葉で優しく声をかけてください。それから、落ち着けるように具体的にゆっくり話して状況を教えてください。緊急時には、とにかく安全の確保を優先してください。ヘルプカードを持っていて、緊急連絡先が分かる場合には、連絡をお願いします。

パニックや発作、病変のときにどうして欲しいかが、ヘルプカードに書いてある場合もあります。周りの人と協力して対応してください。

Q 2 避難場所で過ごすときに、障がいのある人が困っていたらどうすればいいの？

⇒A ヘルプカードを持っているか聞いてみてください。持っていたら記載内容にある配慮をお願いします。

例えば、普段と異なる環境で不安定になったり、大きな声や音、まぶしい光が苦手な人もいます。見守った上で、落ち着けないときは静かなスペースを確保してください。医療的に配慮が必要な人、体温調整ができない人、食事に制限のある人などさまざまな特性がありますので、障がいのある人への理解・配慮をお願いします。

Q 3 日常で何か困っているような人を見かけたらどうすればいいの？

⇒A 何かお手伝いすることがありますか？と声をかけてください。その際、ヘルプカードの提示があった場合は、書いてある手助けをしてください。

声をかけた時に、手助けは不要だと断られても気にせず、別の機会には手助けが必要な場合もあるので、積極的に声をかけてください。

聴覚障がい者や内部障がい者のように、外見では障がいがあるのか分かりにくく、ちょっとした配慮が必要なときに自分からはなかなか言えない人もいます。障がいのある人への理解・配慮をお願いします。